

## ★イベント・ボランティア募集

就労継続支援B型事業所ふたば

### ふたば春風まつり

『皆さんにふたばのことを知っていただくために、今年もやります』とふたば春風まつりを開催されます。ついては、まつりを支えていただくボランティアさんの力が必要です。ちょっと、気軽に、ボランティア活動をしてみませんか？

日時 平成27年4月25日(土) 10:45~14:00  
※活動時間 9:30~15:00(都合のいい時間帯でもOK)

場所 就労継続支援B型事業所ふたば(都町30-4 都町公園北側)  
活動内容 会場設営・片付け、交通誘導、駐輪場整理、コーナーの手伝い  
メンバーと同行など

その他 交通費は自己負担をお願いします。  
昼食の準備はあります。

※駐車場がありません。公共交通でお越しください。

募集人数 7名  
※内4名決定

## 予告

### 第9回おいづる光と風まつり

日にち 5月17日(日)

場所 おいづる作業所(観音新町3-9-9)

今年で、はや9回目を迎え、地域の皆さんをはじめボランティアの方々とのつながりが広がっています。障害のある仲間がその広がりの中でいきいきと生活している姿に触れていただけるこのチャンス。

今年も多くの人に支えていただくことで、さらに楽しい「光と風まつり」になるのでは？

活動を希望される方、お待ちしております。詳しいことはお気軽に下記社協までお問い合わせください。

## ★ジョギング 伴走ボランティア募集!!

平日の昼間、ジョギングの伴走をしてくださる方

視覚障害のある50代の女性と西区スポーツセンター周辺の広めの歩道を一緒に走ってくださる方を募集します。視覚障害の方の伴走未経験者も大丈夫。輪にした紐の端をお互いが持って走ります。お互いが慣れるまでは一緒に歩くことから始めます。

「風を感じて走りたい」というその思いを実現するお手伝いをしてくださる方で走ることが好きな方、ご連絡をお待ちしています。  
男女は問いません。



## ボランティア活動保険 更新のお願い

ボランティア活動保険更新の時期になりました。現在加入されている保険の補償が3月31日で終わります。更新の手続きをお願いします。

補償期間は3月末までの手続きであれば4月1日からとなり、それ以降であれば、手続きをされた翌日から来年3月31日となります。

掛け金は下記のとおりです。

基本タイプ	Aプラン	300円
	Bプラン	450円
天災タイプ	Aプラン	430円
	Bプラン	650円

この広報紙のすべての問合せ及び申込  
広島市西区社会福祉協議会(安井・原田) Tel 294-0104 / Fax 291-7096

西区ボランティア活動情報紙

2015年(H27)3月 No. 151

# 西ボラ・かわらばん

発行 西区ボランティアセンター

〒733-8535 広島市西区福島町二丁目2番1号 広島市西区社会福祉協議会

Tel (082) 294-0104 Fax (082) 291-7096

E-mail [nishi@shakyohiroshima-city.or.jp](mailto:nishi@shakyohiroshima-city.or.jp)

ホームページ <http://www.shakyo-hiroshima.jp/nishi>

## ボランティア講座のご案内

聞こえの障害には、難聴、ろう、中途失聴があります。主なコミュニケーションの方法として、手などを使って表現する“手話”や書いて伝える“要約筆記”があります。

聞こえにくい、聞こえないことで日々の生活でも様々な困りごとや見えない障害のため誤解されることもあります。障害のことを理解し、困りごとが少しでも少なくなり、だれもが安心して生活できるまちになることを目指して、手話のボランティア入門講座を開催します。

手話のおもしろさ、むずかしさを体験してみませんか？



平日の昼間に時間のある方にご案内します！

### ※昼の部

5月12日(火)~7月14日(火)

13:30~15:30

毎週火曜日 全10回

場所 西区地域福祉センター4階  
定員 20名(定員になり次第締切)  
参加費 1000円(資料代として)

手話サークル「麦」

西区社会福祉協議会

仕事や学業と両立できる日程です！

### 〔夜の部〕

5月8日(金)~7月10日(金)

19:00~20:45

毎週金曜日 全10回

場所 西区地域福祉センター4階  
定員 25名(定員になり次第締切)  
参加費 1000円(資料代として)

共催 手話サークル「クローバー」

西区社会福祉協議会



今般、はからずも上記表彰を受け、大変恐縮しております。

教室を始めて12年、参加して下さった方は延べ45名、男性が2名、残りが女性です。余り難しいことはしておりません。参加者がここのところが少し不得手なので・・・オサライをして得意にしておきたい。従って、一人ひとり内容が異なっており2～3人が限度です。場合によりますと一回でOKという方もおられました。習得内容は会議のレジュメ・会員名簿・経費帳・会報等ボランティア活動で最低限必要なものです。

パソコン寺子屋

徳田 勝

この度の思いもかけない表彰に感謝申し上げます。今後とも会員一同一致協力し、レクを通して障害者(児)外出支援等の技術向上に努力してまいります。ありがとうございます。

よかよか倶楽部 今村裕子

この度、広島市社会福祉協議会会長表彰、社会福祉協働者にて表彰して頂きありがとうございました。

自分たちが楽しみながら出来ることを、お互いに協力し合いながら続けてきました。これからも、同じだけの長さの活動ができることを目標に活動していきたいと思っております。

最後に、松井市長の「広島未来を見据えたまちづくり」の講演を拝聴し、一日も早く実現して頂きたいと思っております。

子育て支援 わいわいサークル

伊藤和子

朗読サークル じょい・ぼいす

## ● ボランティア交流会 (2.16) ～参加者より～

西区社会福祉協議会にて行われたボランティア交流会に、参加させていただきました。色々なボランティア活動があり、20代の大学生から80代のボランティアセンターに登録されている方々が、想像以上にたくさん参加されましたことにビックリしました。

最初に、色々なボランティア活動の紹介。中には20年以上という活動グループがいくつかあり、継続の力は先輩から後輩へと思いを伝え受け継いでおられるとか。素晴らしいです！もちろん、数年前から立ち上げられ、頑張っておられるグループもたくさんありました。活動内容の説明の中には、入門講座をきっかけに皆さんで集まり、勉強会をしておられるグループもありました。

紹介後はお弁当をいただきました。それからボランティア活動の成果を出し合っ、物語風に朗読。参加された皆さんで合唱。クイズで脳トレ問題に挑戦。クイズでは、魚・花・果物の名前を知っているようで浮かばず、残念な思いをする場面もありましたが、笑いの絶えない楽しいひと時を過ごさせていただきました。

グループで元気を出し合い、少しでも私たちが出来る活動を心がけ、相手の心に傷がつかないように、「何かお手伝いできることがありますか」「お手伝いしましょうか」。そんな笑顔の声掛けが、お手伝いの第一歩ではないでしょうか。

今回の交流会で、学ぶものが多くありました。ありがとうございました。

手話サークル「麦」 石井幸子

去る2月16日に実施された『ボランティア交流会』に昨年に次いで2度目の参加をしました。西区社協の林事務局長が「今日は会場がいっぱいになりました。来年はもっと大きい会場で開催することになるかもしれません」とご挨拶でおっしゃったほど、あの広い大会議室が80名の参加者で埋まりました。

昼食後、参加した22団体と3名の個人ボランティアの方々から、それぞれの活動内容の紹介がありました。この中で「カナリアの会」の方から、「街頭で視覚障害の方が杖を垂直に50cmほど上に掲げていたら、それは手を貸してほしいという合図です」とお聞きして又一つ勉強しました。

グループ紹介の終了後、「たのしいおりがみの会」によるテーブル毎のグループ対抗ゲーム、「ひいらぎの会」による落語絵本の群読(複数の人が予め決められた順に従って物語を語ること)、「よかよか倶楽部」によるフーセン割りゲーム等で大いに盛り上がり楽しい会になりました。私自身参加してみてこれだけ多くのボランティアグループがありそれぞれのグループで、日々地道にボランティア活動に取り組んでいる仲間たちがいるのだと心強い思いを新たにしました。

当日参加した大学生の「何かボランティアをしたいと思いついて検索して『まめの会』に入りました」との発言に、これからの若い人々への呼びかけのヒントをもらいました。最後に「カナリアの会」の西田さんの「私たちはこれだけ多くの方々に見守られながら社会活動に参加できることを大変心強くうれしく思います」というご挨拶が印象的でした。

ひいらぎの会 片山 朗

## ● 就労継続支援B型事業所「ふたば」もちつき大会 (1.10)

～参加者より～

1月10日のこの日は、インフルエンザが猛威を振っている最盛期であり、当日の最低気温は3.7℃であった。それにもかかわらず「ふたば」の前には朝早くから保護者、職員、ボランティアの人たちが多く集まり、出店の準備に追われていた。

出店物の多くは、「ふたば」で作られたもので、来客者には人気があった。しかし、来客者が少なく、宣伝がたりないのかなと感じた。

私たち「男のつどい」は元気の良い若者たちの協力を得て、餅つきを担当した。餅つきでは、米の種類によるのか、しっかりついて米粒のない餅にならず、「あらかね餅」のようであった。そのため、餅をつく時間が長くなり、餅の温度が下がりがすぎてしまい、餅を丸める工程では堅くなって丸めにくかったようである。それではと、米を蒸す時間を長くしてみたが、あまり変化はなかった。今後もよくあることとして参考にさせていただきたい。

「ふたば」に通っておられる人たちの餅つき応援を期待していたが、インフルエンザ流行のため、参加者が少なく残念であった。来年は、元気で、多数の参加者がいることを期待しています。

男のつどい 田坂善治郎

### 募集

### おもしろ工作塾

ボランティアグループ「男のつどい」の活動の一つとして、首記「おもしろ工作塾」があります。2月は右のようなお雛様を作りました。

当塾を西区登録ボランティアの皆様にお知らせして、同好会の輪を広めたいと考えています。製作作品等についても皆様と相談しながら、工工作塾を進めたいと考えています。道具・材料・計画書は塾長が準備致します。多少の費用は要しますが、ご了承ください。

この主旨にご賛同の皆様をお待ちしています。

申し入れ(社協・原田まで)

おもしろ工作塾・塾長 藤井忠臣

